

会場：岩波セミナー룸参加費：500円

2011年8月3日(水)

19:00~21:00 (開場18:30)

活動家一丁あがり!

特別シンポジウム

被災地から

4つの「声」

を聴き取る

20キロ圏内住民の声

西山千嘉子

被災地と自殺についての声

根岸 親

農業者の声

鈴木新

親の声

大貫寛之

聞きに来てね
♡

東日本大震災から5カ月が経とう
としています。

マスメディアからの情報からはすく
い取れない被災者一人ひとりが抱える
簡単に割り切れない問題の複雑さを
聞き取り、ともに何ができるのかを考える

シンポジウムを開催します。

当日は福島県内からのゲストや東京に
避難している親が今考えていること

聞いてほしいことを語ります。

ぜひご参加ください。

〈パネリスト〉

●鈴木新（すずき・あらた）

1954年生まれ。丸果会津青果専務理事/あいづグリーンネットワーク。

会津にこだわり会津の野菜に特化して埼玉を中心に展開する量販店に会津野菜の直売コーナーを仕掛け大きな売り場を育ててきた。日本の農業や食の現状と未来についての提言も責極的に行なう。

原発事故後は「風評被害」に遭う生産者の声を聞き各所で発言を展開している。

●根岸 親（ねぎし・ちかし）

特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンク副代表。福島県出身。8歳の時に父を自殺で亡くす。

あしなが育英会から奨学金を借りて、大学へ進学。阪神大震災遺児や自死遺児などを支援する活動に没頭。

在学中に1年間休学し、ブラジルの貧困地域で活動するNGOにて研修。卒業後、群馬県太田市教育委員会事務局にて外国人の子ども教育を担当。2007年から「1000人の声なき声」に耳を傾ける自殺実態調査に携わり、約200人の自死遺族からお話を伺う。2010年3月に太田市役所を退職し現職。現在は自治体における自殺対策の都市型モデルの構築、他団体と連携した「震災遺族向け電話相談」等のプロジェクト全般に関わる。

●西山千嘉子（にしやま・ちかこ）

福島県川内村生まれ。企業での勤務の後、17年前に故郷の川内村に家族でUターン。県オンブズマンと共に歩む活動を行なう。2003年に川内村村議会議員選挙に立候補し落選するも3年後の2006年に当選。原発事故の際には限られた情報の中での混乱の中避難し避難生活は現在にも至る。原発から20キロ圏内の住民としてまた村議会議員として「原発事故はなぜ起きたのか?」「これまでの地方自治体のあり方はどうだったのか?」そして移住避難に対する規制について考え、各地を廻りながら発信を続ける。

●大貫寛之（おおぬき・ひろゆき）

2歳の子どもを持つ父親。いわき市でホームヘルパーとして勤務していたが原発事故後いわき市から栃木県・千葉県・神奈川県と移りながら南下し家族で避難。その後東京都青梅市に移住し現在は全国の友人たち知人たち家族の心からの温かい助けの中生活しながら被災地支援活動を行なっている。



会場：岩波セミナールーム
千代田区神田神保町2-3岩波アネックスビル3F
◆地下鉄神保町駅A6出口1分◆JR水道橋駅12分

〈主催者連絡先〉

【お申込み・お問合せ】ウェブからもお申込みいただけます
「活動家一丁あがり！実行委員会」/
特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター（PARC）
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11東洋ビル3F
TEL:03-5209-3450 FAX:03-5209-3453
E-mail:office@parc-jp.org http://www.parc-jp.org
Twitter : http://twitter.com/parc_jp

